



5月 園だより

令和6年4月26日
磐田市立磐田南幼稚園
園長 松井 みき

園目標 心豊かでたくましい子 ~元気いっぱい 友達いっぱい 夢いっぱい~

年少児 少しずつ幼稚園となかよし



入園して3週間。外での遊びを楽しみにしています。自然や玩具や遊具に興味を示しています。「先生、見て」という声も聞かれるようになりました。生活では年長児のお手伝いにも支えられています。お兄さん、お姉さんの助けを受け入れていくよさにこれからの人への関わりの成長が楽しみ！

年中児 大好きな先生や友達と

年長児 好きなことをとことん



好きな遊びから友達と関わったり、生き物探しに夢中になったりしています。



友達と一緒に目的をもってつくることを楽しみました。



年中・年長児は経験したことがある遊びや関心をもったことに積極的に関わっています。先生、友達と一緒に楽しさを感じる姿が見られます。年長児は帰りのひとときや年少児のお手伝いの際、優しい関わりとすばらしい歌声が響きます！



参加会・懇談会、ありがとうございました。園での遊びやクラスの様子を捉えていただくよいひとときになりました。

子どもは遊びのなかで、人やもの、出来事にかかわりながら学んでいます。それはやがて、生きていく力や人とかかわる力、自分の力で物事を切り開く力につながっていきます。4月、好きな遊びを楽しみながら、新たな環境に慣れていきました。担任や支援職員の温かな関わりと外の空気にふれて遊びで心がほどけていく姿が見られました。園では自ら遊べる環境や遊びを考えていきます。

5月行事予定

☆…双葉会（PTA）活動 ○…給食 弁…弁当 ×…給食なし ◆…通訳不在日

月	火	水	木	金	土・日
		1 ○	2 ○	3 憲法記念日  幼稚園はお休みです	4  みどりの日 5  こどもの日
6 振替休日 幼稚園はお休みです	7 ○ ☆降園指導 タマネギ・ジャガイモ収穫（この週で）	8 ○	9 ○ 内科検診 13:00	10 ○ 絵本貸し出し開始	11 12 母の日
13 ○ 絵本返却 業者による 写真撮影①	14 ○	15 ◆ ○ 田植え（年長） ☆田植え ボランティア	16 ◆ ○ 業者による写真撮影予備日 歯科検診8時45分 （年長児のみ） 8:15～8:25に登園 ※年長きょうだいも一緒に登園できます。	17 弁 調理活動（タマネギ、ジャガイモ） 絵本貸し出し	18 19
20 ○ 誕生会 絵本返却 6月給食回数締切日 預かり保育料 4月分振替日	21 ○ 田植え（年長）予備日 ☆田植え ボランティア	22 ○ 幼稚園にお客様が来園します。	23 ○ 年少親子 交通教室	24 ○ 絵本貸し出し 避難訓練	25 26
27 ○ 絵本返却 園納金振替日	28 ○	29 ○	30 ○ 幼稚園にお客様が来園します。	31 ○ 絵本貸し出し りす組①	

《登降園時について》

- ・自分の荷物は自分で持ちましょう。（かばん・帽子）
- ・門を出る時は必ずお家の人と手をつなぎましょう。
- ＊降園時は特に業者トラックの出入りが激しくなります。
安全に気を付けて登降園できるようにご協力をお願いします。
- 園西側の出入り口は、東門と同様、出入りの際は必ずフックを掛けてください。
- QRコードでの登降園チェックに慣れてきました。QRコードチェックは必ず大人が行うようにしてください。iPad 破損、故障防止のためお子さんは触れないようにしてください。



令和7年度磐田南幼稚園入園希望者親子対象の園庭開放です。

園庭開放時間に遊具下にマットが出ていない時には遊具は使えません。（子供達にはクラス担任より話をしてあります。）安全のために、ご協力をお願いします。

6月の主な行事

- 3日（月）年中交通教室
- 4日（火）業者による写真撮影②
- 5日（水）天寿会（地域のお年寄りの方が来園されます）
- 6日（木）尿検査①
- 7日（金）☆環境部員奉仕作業①
- 11日（火）業者による写真撮影予備日
- 12日（水）プール掃除（年長）眼科検診 12:45
- 13日（木）プール開き

- 17日（月）歯磨き教室（年中、長）
- 18日（火）誕生会
- 19日（水）避難訓練（河川増水）
- 20日（木）尿検査② 年長聴力検査
- 21日（金）絵本貸し出し1学期終了
- 25日（火）年長参加会・懇談会＋自由参加会
- 26日（水）年中参加会・懇談会＋自由参加会
☆登園指導
- 27日（木）年少参加会・懇談会＋自由参加会
- 28日（金）りす組②

下記のエッセイに思わず、自分の子育てに重ねました。園は子育てを支え、助けられる存在でありたいと思っています。おうちの方とのおしゃべりを通して、お子さんの育ちを伝えていきたいです。

母の友 エッセイ

いいお母さんになりたい

岡いくよ

「子どものことをわかってあげられなくて。私はだめな母親ですね」というつぶやきを育児

児相談に来た何人

ものママから聞いてきた。そんなママに限って、実は

心を尽くして子どもと向き合っているものだ。とはい

え、自分のことはわからないもので、

かつて私もよく「だめな母親だな」と落ち込んで自分を責めていた。

「いいお母さんになりたい」というのが、幼いころからの私の夢だった。

優しくて穏やかで子どもに好かれる、そんな母親像を思い描いていた。赤ちゃんは身近にたくさんいたし、子どもが大好きで、何の迷いもなくて

い母親になりたくて願っていた。わが子が生まれ出た瞬間に感じた力や、お母さんと呼んでくれる子を抱き寄せたときの柔らかさ、温かさは、私の「生きる原点」となった。母乳を飲んでくれた娘のウンチが胎



便の緑から黄色く変化したとき、自分の身から出たものが子どもの身となる喜びで、この子のためにどんなことでも乗り越えようと決心したことを思い出す。そのころの私は、たいていのことは自分のがんばりで何とかなると思い込んでいた。

しかし、育児は一人でできるものではない。毎晩二時間くらい、授乳しても、おむつを替えても、何をしても泣き続ける娘を抱き、おろおろと部屋の中を動き回っていた。どこか悪い所があるのか不安で、小児科も受診したが、何の異常もない。泣く娘にイライラして焦り、「もういい加減にして!」とつぶやいた途端いいお母さん像が揺らいで落ち込む自分のがんばりだけでは「いいお母さん」は遠く手が届かない気がした子どもが成長するにつれ、理想の母親幻想は消え、現実的などころに落ち着いた。幼い子を持つママたちの話に耳を傾けていると、当時は気づかなかつた育児の発見がたくさんある。子どもの育ちは母親だけの責任ではない。

子どもは多くの人の中で育まれてほしい。子育ての発見は、いろんな人たちとおしゃべりの中にこそある。子どもを違った角度から見つめる場はとても大切だと思う。

おかいくよ 助産師。妊娠中〜授乳期の母親の話を聞く活動を続けて二十一年になる。